

4年生 総合的な学習

4年1組 「へち○たくさん日枝のまち」

昨年度の総合活動は「お三の宮通り」を材として、地域とのかかわり、地域の活性化、歴史・文化を学び、体験、活動してきました。「お三の宮通り」に対する愛着がとても強く、「お三の宮通り」「地域」とかかわっていきたいという思いのある子どもたちです。

理科の学習で、へちマ、ツルレイシを育てることになり、授業の導入段階で色々な話題が上り、ある子どもがへちマ水や、スポンジを作っていたことが分かり、へちマに興味関心を抱くようになりました。

そこで、へちマを育てるとどんないいことがあるのか出し合い、学級で1年間へちマを通して「地域」とかかわったり、取り組んだりしていくことになりました。また、へちマを育てることで、自分たちも、まちも、学校もよくなっていくという願いを込めて「へちまる」という愛称になり、そして、日枝小学校のマスコットひえまるから由来した、へち○君もできあがり、子どもたちはさらに意欲的に取り組むようになってきています。

4年2組 「スターのように輝け！ 大好き！大岡川」

4年生になり、社会科で水やごみの学習が始まり、子どもたちは水について興味津々！自分たちの何気なく使った水が自然へ帰って行くまでのながれを知り、驚きの表情の子どもたちでした。「水についてもっと調べてみたい。」「自分たちのまちに流れている大岡川についてきれいにしたい。」という前向きな思いから、活動がスタートしました。

5月には学区内に流れている大岡川に沿って歩き、じっくり川を見ると、エイやボラ、クラゲなどの生き物が多く見られ、予想をしていなかった魚が見られたことに驚きと歓声があがりました。

子どもたちは、普段の生活から何気なく大岡川の上を渡ったり川沿いを歩いたりしています。大岡川の状態を調べることで思ったよりもきれいな水だということや、海とつながっているからいろいろな生き物がいるなどのことに気付き、新たな「発見」をしているところです。

この活動を通して、大岡川を大好きになり、その川が流れる日枝のまちや、川を守り大切に思うまちの人への愛着を深めてほしいと考えています。また、自分たちなりに川や自然を大切にしていこうとする子どもになってほしいと願っています。

4年3組 「すきすき 紙すき！^{フォーティスリー}4 3」

大岡川に捨ててあった新聞紙、ちょうどその横を通った紙収集車。まち探検で見たその光景から、「紙はどこへ行くのだろう」と4年3組のともだちの活動が始まりました。

どこにでも当たり前にある身近な紙ですが、牛乳パック、トイレットペーパー、うちわ…と紙は生活に欠かせない大切なものであるということがわかりました。南区資源循環局の方の出前授業では、限られた資源を大切にしなければいけないということも学びました。

そんな中、「ぼくの家ではちらしをメモにしているよ」「おばあちゃんはこちらでかごを作っているよ。」「紙すきをしたことがあるよ」と紙のリユースや紙すきに目を向け始めた子どもたち。昨年度お世話になった中村橋商店街の人にどんなリユースをしているか尋ねました。八百屋さんでは昔、野菜を傷つけないように新聞紙で包み販売をしていたり、米屋さんでは、丈夫で分厚い米袋に、野菜を入れて再利用していたりすることがわかりまし

た。また、豆腐屋さんの店頭にはちらしを編んで作ったおしゃれなかごも置いてありました。様々な形に大変身する紙！子どもたちは紙のすごさを再確認して、今「紙様」と呼んでいます（笑）さらに愛川宿泊体験学習での紙すき体験から、自分たちでもざるや巻き簾を持ってきて、牛乳パックの紙すきに挑戦しました。「どろどろで気持ちい〜い！」「楽し〜い！」「またやりたい！」の声。4年3組、夏休み明けも紙すきやリユースにチャレンジします！

